45 01 09 01 03 002

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和03年01月21日(木)

事務事業	消防団施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4506
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政施策分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	・深谷市消防団条例 ・深谷市消防団規則				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200002 消防・救急体制の充実						

事業概要	各地域住民の安全・安心を守れるよう、消防団活動拠点としての中心施設である消防団車庫を維持管理することによって、災害発生時に各地域の即戦力となる消防団体制を維持するものである。
目的 ※何のために	各地域住民の安全・安心を守るため。
対象 ※誰・何を対象に	深谷市消防団第１～２５分団の分団車庫　（深谷南支団：第１～６分団　深谷北支団：第７～１２分団 岡部支団：第１３～１６分団　川本支団：第１７～２０分団　花園支団：第２１～第２５分団）
手段 ※どのように	消防団施設の維持管理を行う。
成果 ※何を求めるか	災害発生時に各地域の即戦力となる消防団体制を維持するものである。
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ ＮＰＯ民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業	会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
	一般会計	09	消防費	01	消防費	03	消防施設費	消防団施設維持管理事業	2,933,345
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0
		00		00		00			0

本事業の主な業務	
・ 消防団施設の維持管理	・
・ 施設の水道光熱費	・
・ 浄化槽保守点検、清掃業務、法定検査	・
・ 車庫等補修修繕	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	
年度別計画							
事業費	予算（現額）	4,491,000	3,565,000	3,115,000	2,737,000	2,837,000	
	決算額	3,940,528	3,011,012	2,933,345	0	0	
財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	
	他特定財源	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,940,528	3,011,012	2,933,345	2,737,000	2,837,000	
人件費	従事職員数(人)	0.75	0.75	0.75	0.75	0.75	
	人件費相当試算※1	5,834,250	5,836,500	5,895,750	6,111,000	6,111,000	
		0	0	0	0	0	
（総事業費試算）		9,774,778	8,847,512	8,829,095	8,848,000	8,948,000	

※１　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
■	活動指標１	団施設修繕件数	目標値	件							■
			実績値		6.00	3.00	7.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		修繕件数は、意図的に定めることができないため、目標値を定めることはできない。							
		当該年度実績									
■	成果指標１	瑕疵による消防団車庫の機能停止件数	目標値	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		瑕疵による消防団車庫の機能を停止させないことが適正なため、目標値を０とする。							
		災害時の実績									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　ー：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	-	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 災害発生時に、各地域の即戦力となる消防団体制を維持できるよう、消防団車庫の定期的な目視点検を実施し、必要な修繕を実施することができた。
成果 （意図した成果が上がっているか）	A	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 定期的な目視点検と、必要な施設修繕を実施したことで、瑕疵による消防団車庫の機能停止を発生させることなく、常時稼働することができた。
効率性 （効率的に事務を行っているか）		目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明

評価者	施設係長　飯野昌栄

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	新たな消防団車庫に必要な建物規模、敷地規模、建物構造、総事業費等の検討を行う。
達成状況 及び その効果	新たな消防団車庫に必要な建物規模等の検討については、他事業で進めている寄居分署、川本分署及び藤沢分署の新築移転や岡部分署、豊里分署の建設工事が着工したことなどにより、十分な検討を実施することができなかった。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	消防団施設維持管理事業	担当課	消防総務課	担当係	施設係	管理番号	4506

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 →
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

- □ 委託化等の検討
- □ 成果向上のための改善
- □ 効率化のための改善
- □ 事業規模の縮小
- □ 他の事務事業と統合

評価の内容説明

地域に根差した防災活動、災害発生時には活動拠点となる消防団施設の機能が常時維持できるように、旧耐震基準により建築された消防団施設（６施設）に対し、早期に耐震化に向けた検討を実施する必要がある。また、老朽化が著しい消防団施設についても耐震化を随時検討する必要がある。

評価者	次長兼消防総務課長　江原　正明

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

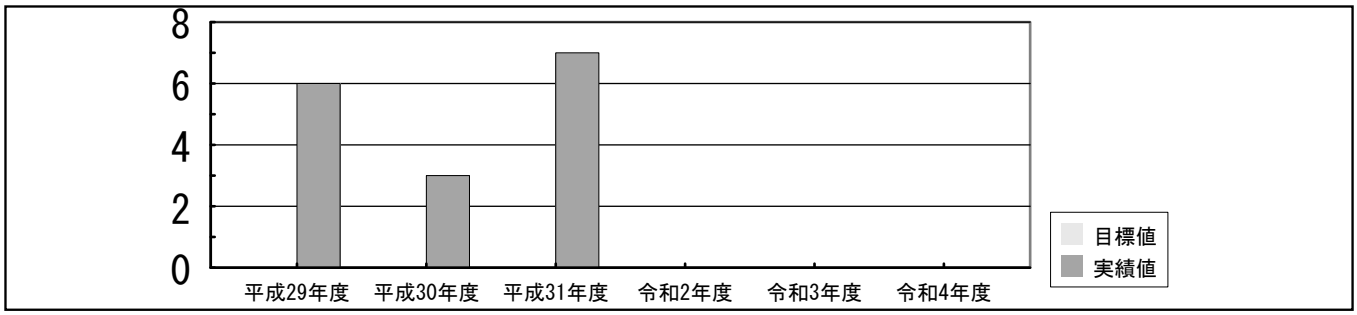
改善・改革案	継続して、新たな消防団車庫に必要な建物規模、敷地規模、建物構造、総事業費等の検討を行う。

８．今後の課題(年度別計画等により実施する取り組み等)

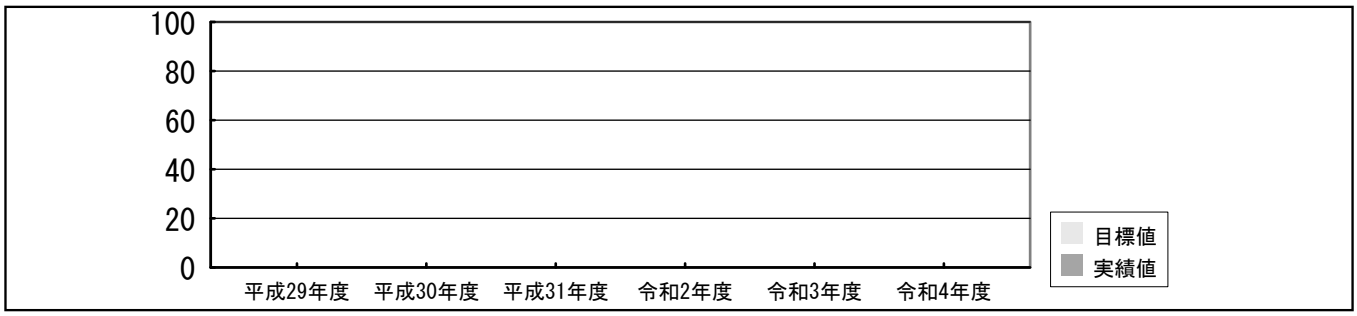
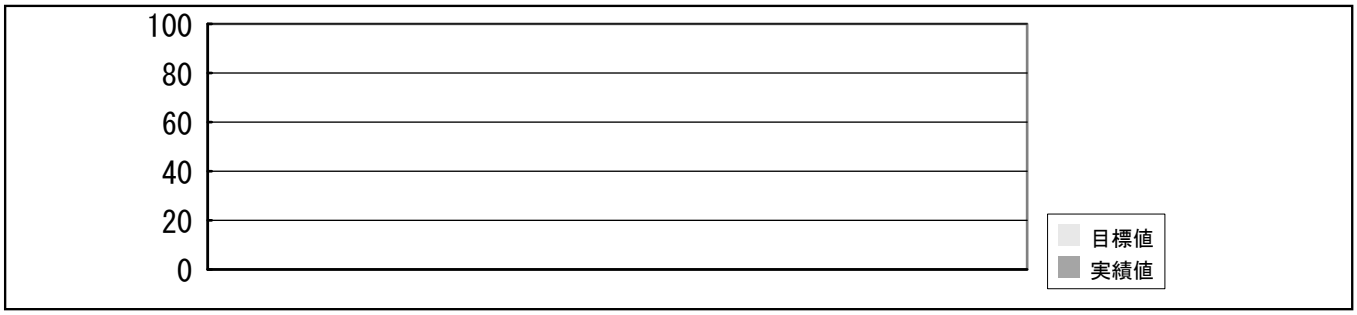
今後の課題	既存敷地内での、消防団車庫機能を維持した建て替えは不可能であることから、新たな計画地を選定する必要があるが、利活用可能な市有地が消防団車庫付近に存在しないため、用地買収を検討しなければならない。

９．評価指標グラフ

区分	活動指標１	指標名	団施設修繕件数



区分	成果指標１	指標名	瑕疵による消防団車庫の機能停止件数



区分		指標名